

共同助成(熊本県遊技業協同組合)

## 「熊本地震仮設住宅の『孤立化』『孤独死』防止支援活動」事業

### 「おしゃべり」カフェや昼食会の定期開催で被災住民と絆を醸成しながら支援を継続

東日本大震災と原発事故で熊本県に避難した方々の支援や定住に貢献した団体が、2016年の熊本地震の発生を受け、避難所や仮設団地での被災者支援の活動を開始し、現在もその活動を継続中だ。毎週の「おしゃべり」カフェや月1回の昼食会を定期継続開催することで、住民の心のケアやコミュニティづくりに寄与している。



仮設住宅集会所でカフェや各種イベントを開催



被災者同士の交流や相談ができる「おしゃべり」カフェ

#### 仮設団地住人の孤立化や孤独死を防ぐために被災者に寄り添ったきめ細かい支援活動を展開

2011年3月11日に発生した東日本大震災と、それに続く東京電力福島第一原子力発電所事故を受け、日本各地に避難した人は相当な数に上ったが、現在(2019年1月10日時点)でも、全都道府県1,006の市区町村に約53,000人が避難している(復興庁発表)。大震災発生後に熊本県に避難した方々を支援する目的で設立されたのが、現在の「ACTくまもと」の前身となる「熊本被災者支援プロジェクト」である。

同団体では2,000名の避難者の交流会を毎月開催するとともに、就業支援、創業支援、送迎付き学童保育などを実施し、800名の方々の熊本定住を実現した。2013年には被災者支援活動に対して厚生労働大臣から感謝状を受け、2015年3月11日をもって東日本大震災支援を終了した。

その後は地域活性化コンサルタントとして、移住・定住支援事業を行っていたが、2016年4月14日の熊本地震の発生を受け、避難所での心のケア、コミュニティづくり、人間関係支援を開始し、同年9月からは益城町テクノ仮設団地を中心に住民の孤立化や孤独死を防ぐとともに、被災者の自立心を引き出し、仮設退去後に地域コミュニティに積極的に参加できるようにする活動を行っている。

主な活動内容は、①仮設住宅集会所で、毎週継続して「おしゃべり」カフェを開催、②弁護士、内科医、精神科医、歯科医、保健師、看護師、精神保健福祉士、保育士、栄養士、調理師、セラピスト、司法書士、行政書士、ビジネスコンサルタントから成る自前の専門家チームによるセーフティネットを用意して、ワンストップでの問題解決のサポート、③各種イベントの開催、④仮設の見守り活動、⑤居住者が企画したイベントのサポートなどである。

#### 毎週火曜日のカフェや月1回の昼食会で仮設住宅住民とスタッフ間に絆が生まれる

①の「おしゃべり」カフェは益城町テクノ仮設団地A集会所を会場に、毎週火曜日10時～15時に開催しているもので、みんなでおしゃべりすれば99%の問題は解決するという信念のもと、定期開催で信頼関係を構築し、個人的問題を安心して相談できるような雰囲気づくりを目的に行われている。

このカフェ開催と並び、毎月第1火曜日には「みんな揃って頂きます」という昼食会を実施しているが、AJOSCと熊本県遊技業協同組合からの助成は、2018年4月から9月にかけて開催されたカフェ28回、昼食会6回の費用として活用された。カフェの平均参加者は約30名、昼食会は約70名で、延べ1,200名の参加者があったという。こうしたイベント開催にあたり、同法人ではその都度、全戸に案内チラシを手渡しして配布し、住民の安否や体調確認を行うなどの細かい配慮をしている。

ACTくまもとの代表理事、寮慶吉さんは、「カフェや昼食会を継続開催することで、益城町テクノ仮設団地に居住されている方と当法人のスタッフとの間に絆が生まれ、信頼できるコミュニティが形成されたことがうれしい。現在は40%近くの方が仮設住宅を退去されたが、退去後もカフェにやってくるおしゃべりをしたり、調理の手伝い、チラシ配布などのお手伝いをしてくれます」と話す。被災者からは「とても助かっている」という声が多く寄せられているほか、熊本県社協からは「2年以上、継続支援している団体はない」、益城町からは「見守り対策の具体化をアドバイスしてほしい」と言われているという。

#### 熊本県遊技業協同組合より

被災者の「心のケア」「コミュニティ作り」「自立支援」を行いながら「孤立化」「孤独死」を防ぐ活動に賛同しました。

被災者に寄り添った活動の継続を期待しています。



「おしゃべりカフェ」の開催を告知するチラシ



毎月開催している昼食会

助成団体:一般社団法人 ACTくまもと

<http://act-kumamoto.jp/>



#### 支援活動の責任ある継続によって助成が大きな糧となりました

熊本地震発生から2年が経過しているにもかかわらず、支援活動に助成をいただけたことに感謝しております。さらに、専任スタッフの人員費を助成対象にいただいたことは、大変助かりました。支援活動を継続するには、担当者が入替わらずに専任スタッフとして活動することが非常に重要です。その体制で活動できたことは素晴らしいことでした。

一般社団法人 ACTくまもと  
代表理事 寮慶吉さん